

ビジネスプラン  
コンテスト

「群馬イノベーションアワード2023」



起業家の発掘を目指すビジネスプランのコンテスト「群馬イノベーションアワード(GIA)2023」(上毛新聞社主催、田中仁財団共催)に応募してみませんか? 11回目となる今年は、初めて小中学生も挑戦できるようにしました。高崎商科大の前田拓生教授に「イ

# 小中学生の挑戦可能に

ノベーションって何? 「ビジネスプランってどう考えるの?」といった疑問を分かりやすく解説してもらいました。

高崎商科大教授

前田 拓生さん



「子どもの目線からアイデアを生み出してほしい」と呼びかける前田教授

## 子ども目線でアイデアを

Q

イノベーションって何ですか。

A

イノベーションと聞くと、ゼロから何かを生み出すイメージがあるかもしれませんが。この言葉を定義した経済学者のヨーゼフ・シュンペーターは「新結合」という意味を持たせています。

新結合とは、今あるものや仕組み、技術をこれまでにならぬ形で組み合わせ、新しい価値を生み出すことです。「1+1」が単なる

## 技術組み合わせ 新しい価値生む

2ではなく、10や50、100になる組み合わせを考えるのです。

代表的なイノベーションは蒸気機関車(SL)でしょう。馬車で荷物を運んでいた人々が、より遠くにたくさん運びたいと考えて生み出しました。その時に組み合わせたのが、糸を紡ぐのに使われていた蒸気のと馬車の仕組みです。

蒸気のと馬車の動力に代えることでSLが生まれたのです。このように組み合わせ次第で、これまでになかった新しいもの、アイデアを生み出せる可能性があります。



昨年のファイナルステージのファイナリストが勢ぞろいしました



堂々と発表する高校生のファイナリスト(2021年)

Q

ビジネスプランってどう考えるの?

A

難しく感じるかもしれませんが、「自分がやりたいこと」を考えればいいのです。自分が魅力を感じることで、他の人にも響く可能性があります。自分のやりたいことをみんなが楽しめたり、使えたりするサービスや仕組みになるよう考えてみましょう。

まず、自分がやりたいことを見つけます。例えば「遊園地に行きたい」。さらに深掘りしてみると、「ゴーカートで遊びたい」と、より具体化することができます。

今度は、遊園地に行かないと、本当にゴーカートで遊べ

## やりたいことから始める

ないのかを考えます。もしかしたら、身近に代わりになるものがあるかもしれません。椅子の脚に車輪を付けたら、自由に操縦できるハンドルを備えたりしたら、家でも遊べるゴーカートの完成です。

さらに楽しくなるように工夫してみましょう。椅子の脚の長さを変えて安定感をなくせばスリル感が出るかもしれません。自動走行できるように何か動力になりそうなものを見つけるのも面白いですね。

このように何かと何かを組み合わせ、機能を付け加えたり、削ったりしながら、新しい遊び道具を生み出せたのなら、それはイノベーションによる商品と言えます。

小中学生の皆さんの柔軟な発想が、大人を驚かせるビジネスプランになる可能性を秘めています。ぜひ挑戦してみましょう。

### ビジネスプランの考え方

前田さんが教えるポイント4つ

- 自分のやりたいことを考える
- 具体化し細部を固める
- 別の考え方を組み合わせてみる
- 点検を重ね磨き上げる

### GIA 募集要項

小中学生が応募できるのは、ビジネスプラン部門の高校生以下の部です。ビジネスプラン1件につき2人までエントリーできます。資金調達の方法はクラウドファンディングなど思い付く範囲で構いません。対象は県内出身者か在住、在学者。9月8日まで。

9月中旬に1次書類審査、10月7日に2次プレゼンテーション審査を行い、ファイナリスト15組程度を決めます。ファイナルステージは10月28日に前橋市の日本トーターグリーンドーム前橋で開催します。

参加希望者はGIAホームページ＝QRコード＝から申し込みます。問い合わせは上毛新聞社営業局事業部(☎027・254・9955、平日午前9時～午後5時)へ。

